

# 黒部市行政改革実行計画 ＜アクションプラン＞

(平成22年度～平成26年度)

平成25年9月

黒部市行政改革推進本部

# 目次

## 1. 市民と共に進める地域経営

### (1) 市民との協働の推進

市民との協働による市政の推進	1
----------------	---

## 2. 行政の公正の確保と透明性の向上

### (1) 開かれた行政の推進

市民にわかりやすい情報提供と様々な広報媒体の活用	2
--------------------------	---

タウンミーティング（市民との対話集会）の開催	3
------------------------	---

## 3. スリムで効率的な行政体制の整備

### (1) 組織・機構の見直し

組織・機構の見直し	4
-----------	---

幼稚園の統合・幼保一体化	4
--------------	---

学校規模の適正化及び通学区の見直し	5
-------------------	---

### (2) 組織内分権の推進

各部局への予算編成に関する一定権限の付与についての検討	6
-----------------------------	---

### (3) 公共施設の設置と管理運営の見直し

公共施設の設置と管理運営の見直し	7
------------------	---

市役所 黒部庁舎・宇奈月庁舎の見直し	8
--------------------	---

黒部消防署の見直し	9
-----------	---

宇奈月消防署の見直し	9
------------	---

黒部市立図書館・宇奈月館の見直し	10
------------------	----

保健センター・健康福祉センターの見直し	10
---------------------	----

窪野高齢者共同作業センターの見直し	11
-------------------	----

給食センターの管理運営の見直し	11
-----------------	----

## 4. 定員管理と給与の適正化

### (1) 定員管理の適正化

定員管理の適正化	12
----------	----

### (2) 給与・手当の適正化

一般職員の給与の適正化	13
-------------	----

時間外勤務の抑制	14
----------	----

## 5. 経営的視点に立った事業運営

### (1) 行政評価システムによる事務事業の整理合理化

行政評価システムの確立	15
-------------	----

### (3) 民間活力の積極的導入

指定管理者制度の活用	15
------------	----

保育所の民間移管	16
----------	----

黒部市美術館の指定管理者制度の導入	17
-------------------	----

### (4) 外郭団体の組織・経営の見直し

外郭団体の組織・経営の見直し	18
----------------	----

黒部市土地開発公社所有地の簿価総額の縮減	18
----------------------	----

### (5) 公有財産の有効活用

未利用地の活用	19
---------	----

## 6. 健全な財政運営の確保

### (1) 計画的な財政運営

財政構造の健全化（実質公債費比率）	19
-------------------	----

財政構造の健全化（起債残高）	20
----------------	----

### (2) 財政基盤の強化

財政健全化プランの作成	20
-------------	----

市税収納率の向上	21
----------	----

住宅使用料収納率の向上	22
-------------	----

補助金の適正化	23
---------	----

公債費の削減	23
--------	----

### (3) 公営企業の経営健全化

水道事業の経営健全化	24
------------	----

病院改革プランの遵守	25
------------	----

## 7. 職員の意識改革と時代に対応した行政サービスの提供

### (4) 安全・安心な市民生活の確保

危機管理体制の充実	26
-----------	----

	..... 新規
	..... 継続
	..... 継続(見直し)

No.	基本項目	1. 市民と共に進める地域経営	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				全庁 市長政策室 企画政策課						
1	細目	(1)市民との協働の推進	<p>市民との協働の新たな取り組みとして、「市長と語る会」、「職員出前講座」を制度化し、8月から実施する。行政からの発信ではなく、市民や団体の意向に基づくテーマについて互いの役割、立場で討論を行い、協働のまちづくりに資する。</p> <p>&lt;参考&gt; 講座メニュー：73講座</p>	H22	H23	H24	H25	H26		
	取組事項	市民との協働による市政の推進		スケジュール	検討	実施	→	→	→	
	取組内容	<p>市民と行政が協力・連携して担う「協働のまちづくり」による市民と行政との新たな関係を創造するため、ガイドラインを策定のうえ協働への仕組みづくりの方向性を構築するとともに、ガイドラインに基づき、「市民と行政の役割分担の推進」をはじめ、「地域活動団体等による自主管理事業の促進」、「NPO、ボランティア団体等の市民活動への支援」等に取り組む。</p> <p>さらに、本市がどういう方向で「市民参画と協働によるまちづくり」を進めるのか、市民にわかりやすく明確にするために、市議会との調整を図りつつ市民と協働で「市民参画条例の制定」に向け検討する。</p>		数値目標	8	9	10	11	12	
		*協働のまちづくり 地方分権が進む中、よりよい地域社会を実現するため、社会貢献活動や公共的な地域活動に対して、市民と市が対等なパートナーとして連携協力した立場で取り組むもの。		達成値	9	11	12			
		お互いの特性を活かした役割や経費の分担、責任の所在を明確にした上で、自立したまちづくりを目指す。		進捗目標	ガイドラインの策定				市民参画条例の策定	
【これまでの主な実績】 H22 「協働のまちづくりガイドライン」策定 H24 市民参画条例制定の見直し (H25→H26)		達成度	ガイドラインの策定							
		財政効果								
		備考	数値目標:NPO法人の数							

No.	基本項目	2. 行政の公正の確保と透明性の向上	今期取組実績	担当課	全庁 市長政策室 企画政策課					
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26	
2	細目	(1)開かれた行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・facebookの本格運用</li> <li>・緊急情報メールと消防指令台からの火災メールを連携</li> <li>・Google、Yahooとの災害時協定を検討</li> <li>・庁議において、行政として時代潮流に応じた情報伝達体制確立の重要性を確認</li> </ul>							
	取組事項	市民にわかりやすい情報提供と様々な広報媒体の活用		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	広報くるべを中心に市政情報を一元的に収集・管理し、一体的・効果的に発信する。 (市ホームページ、ケーブルテレビ行政番組、ラジオミュー、新聞・テレビ等のより効果的な活用と適切な情報発信)		数値目標						
				達成値						
				進捗目標						
				達成度						
		財政効果								
		備考								

No.	基本項目	2. 行政の公正の確保と透明性の向上	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				全庁 市長政策室 企画政策課						
3	細目	(1)開かれた行政の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民討議会（黒部JC主催）の開催支援 8月18日開催 21人の市民が参加 テーマ 現庁舎跡地の利用について 自然エネルギーの利活用について</li> <li>・H25タウンミーティング（11/28予定）のテーマを決定 ～新幹線開業に向けて黒部市の魅力をさらに高めるために～ ①黒部名水ロードレースのフルマラソン化について ②新川育成牧場の活性化策について ③立山黒部ジオパークの認定を目指して</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	タウンミーティング（市民との対話集会）の開催		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	タウンミーティング（市民との対話集会）への参加者をより多く得るため、テーマや参集対象者、開催時期、開催回数などについて検討する。		数値目標			500人	200人		
		【これまでの主な実績】 <タウンミーティング> H21 テーマ：地域医療体制 総合交通ネットワークの整備 新庁舎建設 6回 584人（→ 389人／4回） H22 テーマ：小中学校の再編 自然エネルギーの利活用 水博物館の整備 4回 314人 H23 テーマ：新庁舎建設タウンミーティング 総合振興計画後期基本計画 6回 568人（→ 379人／4回） H24 テーマ：新幹線開業に向けたまちの賑わいづくりと公共交通の利用について 1回 155人（→ 620人／4回） <市民討議会> H24 第1回目を開催		達成値	314人	(379人)	(620人)			
			進捗目標							
			達成度							
			財政効果							
			備考	数値目標：タウンミーティング参加者数 ・H24までは4回換算の延べ人数 ・H25からは1回あたり人数						

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)							
				全庁 総務企画部 総務課							
4	細目	(1) 組織・機構の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度以降の人員計画（退職・採用）やプロジェクト事業の推進に合わせた組織体制のあり方を検討</li> <li>黒部市新川育成牧場の設置に伴い、出先機関に「牧場」、職に「場長」及び「場長補佐」を新設（10/1施行）</li> </ul>		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)		
	取組事項	組織・機構の見直し		スケジュール	検討実施	→	→	→	→		
	取組内容	分庁舎方式による現行の組織・機構について、業務効率、財政効果、市民サービスの維持向上の観点から総合的な検討を毎年継続し、その都度状況に応じ、行政組織（部、課（班）、係等）の統合等によるスリム化を図る。		数値目標	△1			△1			
		【これまでの主な実績】		達成値	△1 (28課)	1 (29課)	△4 (25課)	1 (26課)			
		H22. 4月現在 29課(班)		進捗目標				新庁舎執務に伴う組織体制の見直し			
		H23. 4月現在 28課		達成度							
		H24. 4月現在 29課		財政効果							
H25. 4月現在 25課（消防本部（4課）を廃止）		備考	課長等が配置されている課・班の削減数								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				市民生活部 こども支援課						
5	細目	(1) 組織・機構の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年4月6日(土) 統合幼稚園開園</li> <li>旧三日市幼稚園舎の解体工事完了（6月～8月）</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	幼稚園の統合・幼保一体化		スケジュール	検討	→	→	統合等		
	取組内容	幼稚園の児童数の減少が続いている現状にあることに加え、施設の老朽化や幼稚園に対するニーズの変化などを考慮し、どのような形での統合や幼稚園と保育所の一体化が必要とされるのか検討する。		数値目標						
		【これまでの主な実績】		達成値						
		H22 幼稚園の統合・幼保一体化について提言		進捗目標	委員会設置	設計・着工	竣工	統合		
		H23 統合幼稚園の建築 3月に契約・着工		達成度	委員会設置・提言	設計・着工	竣工			
		H24 園名を「さくら幼稚園」に決定 工事完了（11月）		財政効果						
		備考								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				教育委員会 学校教育課						
6	細目	(1) 組織・機構の見直し	<p>学校教育基本計画及び小中学校再編計画に基づき、学校再編の取組み方針について説明会を開催し、意見交換を行う。 また、東布施・田家小学校統合準備委員会及び専門部会を開催し、統合校の開設に向けた協議を行う。</p> <p>&lt;東布施小+田家小&gt; 4/16~9/30 各専門部会の開催 ・総務部会 (全4回開催) ・生活部会 (全6回開催) ・組織部会 (全12回開催) ・教務部会 (随時開催)</p> <p>4/23 第2回統合準備委員会 校名候補の選考 4/26 定例教育委員会にて校名を「たかせ」に決定 6/21 黒部市議会6月定例会にて学校設置条例を改正「たかせ小学校」設置決定</p> <p>&lt;前沢小+三日市小&gt; 6/ 5 三日市小学校PTA役員会にて懇談 7/22 三日市地区統合説明会 9/ 5 前沢小PTA・前沢保育所保護者会統合説明会 9/ 9 前沢自治振興委員会にて懇談</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	学校規模の適正化及び通学区域の見直し		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	<p>黒部市学校教育基本計画に基づき、子どもにとって望ましい教育環境の実現に向け、必要な施設の整備や教育プログラムを保護者・学校・地域・行政が理解と協力のもと一体となって取り組む。 学校再編については、これまでの児童・生徒数の推移を踏まえ、適正な施設規模及び配置になるよう、再編の考え方を次のように例示しており、これをたたき台として、関係者と協議を深めながら実現していく。 ・東布施小と田家小の統合 (H25頃) ・三日市小と前沢小の統合 (H30頃) ・荻生小と若栗小の統合 ・生地小と村椿小の統合 ・中学校を3校以下に再編 (H39頃) ※これらは、今後の協議によって修正・変更されることを前提としている。</p>		数値目標					10校 (△1)	
				達成値						
				進捗目標						
				達成度						
		【これまでの主な実績】 H24 「小中学校再編計画」策定 ・東布施小+田家小 →H26 ・前沢小 +三日市小→H28 ・宇奈月中+桜井中 →H32 ・鷹施中 +高志野中→H32  東布施・田家小統合準備委員会設立	財政効果							
			備考	目標数値:小学校数						

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				全庁 総務企画部 財政課						
7	細目	(2) 組織内分権の推進	平成26年度予算編成にあたり、予算編成の基本的な考え方などをまとめる予算編成方針の検討開始		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	各部局への予算編成に関する一定権限の付与についての検討		スケジュール	検討	→	→	→	→	
	取組内容	予算の総合振興計画重点事業枠及び部単位枠の配分について検討する。		数値目標						
		【これまでの主な実績】 H23 総合振興計画の重点事業の予算枠調整のため、総合ヒアリングを実施してきたが、当市の実施状況を勘案し、計画との連携効果を高めるため、総合振興計画後期基本計画を念頭に新たな方法を検討していくこととする。 予算の枠配分（H25実施）は、メリットが見えないため、実施を先送りし、計画との連携は新しい方式を検討することとする。		達成値						
		H24 後期基本計画のハード事業費・財源を精査		進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考								



No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 総務企画部 財政課				
8	細目	(3) 公共施設の設置と管理運営の見直し	<p>&lt;使用料の見直し&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに利用料金を設定する16施設の条例改正を6月議会に上程する。 →H26. 4月から施行</li> <li>既に利用料金を設定している施設の水準を検討し、うち5施設の見直しを行う。 →8/11 庁内検討委員会で決定</li> </ul> <p>&lt;あり方検討&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「公共施設のあり方検討基本方針」決定 5/31 庁議にて方針(案)説明 6/24~7/1 職員勉強会の実施 参加者 課等の長 23人 一般職 156人 7/3 行革推進本部会議</li> <li>公共施設現況調査の実施(7/12~7/31)</li> <li>” ヒアリング(8/19~8/23)</li> <li>施設管理台帳の共通仕様を提示(8/30)</li> <li>行革市民懇話会委員の公募(9/1~9/20)</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	公共施設の設置と管理運営の見直し		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	「公共施設見直し指針」に基づき、施設ごとの方向性を明確化したうえで、廃止、他用途への転用、民間への委譲など改善方針を決定したものから具体的取組みに着手する。		数値目標					
		【これまでの主な実績】 H23 現有施設の利用料の適正化に向けた調査(施設の現状、類似施設の他市状況等) H24 公共施設使用料基本方針策定委員会設置 「公共施設使用料基本方針」策定 「公共施設使用料見直しガイドライン」決定		達成値					
		進捗目標		調査	検討・まとめ	検討	料金改定実施		
			達成度		調査	検討・まとめ			
			財政効果						
			備考						

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				総務企画部 総務課						
9	細目	(3) 公共施設の設置と管理運営の見直し	H25. 5月下旬 実施設計完了 8月下旬 本体工事入札 9月上旬 本体工事仮契約 9月下旬 建設工事議会議決		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	市役所 黒部庁舎・宇奈月庁舎の見直し		スケジュール	検討	→	→	実施	→	
	取組内容	分庁舎方式を見直し、新庁舎を建設する。 新庁舎建設にあたっては、事務的、時間的そして経費的に市民の負担軽減に繋がる効率的な行政事務ができる庁内組織や庁舎機能の工夫に取り組む。 この取組みを盛り込んだ新庁舎建設基本構想等の策定と共にその実現に向けた行政組織見直しに努める。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	基本構想中間報告	基本構想策定・基本設計着手	実施設計着手	実施設計完了・建設着工	建設工事	
				達成度	基本構想中間報告	基本構想策定・基本設計着手	基本設計完了・実施設計着手			
				財政効果						
				備考	竣工予定 H27秋					

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課	消防本部					
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26	
10	細目	(3) 公共施設の設置と管理運営の見直し	旧庁舎解体（8月）							
	取組事項	黒部消防署の見直し		スケジュール	実施	→	→	→		
	取組内容	黒部消防署については、用地取得、造成、建屋の基本設計、実施設計及び整備を行う。 *建設予定地：富山県技術専門学院新川センター（北側道路をはさみ向かい） *竣工予定日：平成24年末を目処 *施設の規模：現在の消防本部及び黒部消防署における業務を行える規模		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	設計造成	造成・建築着工	建設完了 周辺整備	旧庁舎 解体		
				達成度	設計造成	建築着工	建設完了			
				財政効果						
		備考								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課	消防本部					
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26	
11	細目	(3) 公共施設の設置と管理運営の見直し	新川地域消防組合運営計画（仮称）にて、宇奈月消防署の機能について、検討に向けた準備を行う。							
	取組事項	宇奈月消防署の見直し		スケジュール				検討	→	
	取組内容	宇奈月消防署については、黒部市消防署整備構想策定委員会を開催し、宇奈月消防署の機能を見直し整備する。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	教育委員会 図書館					
12	細目	(3) 公共施設の設置と管理運営の見直し	呉東図書館協会で国立国会図書館関西館及び奈良市立中央図書館を視察（6月20日）		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部市立図書館・宇奈月館の見直し		スケジュール	検討	→	→	→	→	
	取組内容	黒部市立図書館の建設に向けた検討委員会を設置し、新図書館についての検討と併せて宇奈月館のあり方について検討する。		数値目標						
		【これまでの主な実績】 H22 黒部市立図書館建設基本構想報告書を作成 H24 黒部市図書館協議会視察（金沢海みらい図書館）		達成値						
		進捗目標		検討委員会の設置	図書館協議会で検討	図書館協議会で検討	図書館協議会で検討			
		達成度		検討委員会の設置・提言	図書館協議会先進地見学実施	図書館協議会先進地見学実施				
		財政効果								
		備考								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	市民生活部 健康増進課					
13	細目	(3) 公共施設の設置と管理運営の見直し	8/9~10 宇奈月健康福祉センターに事務所移転		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	保健センター・健康福祉センターの見直し		スケジュール① スケジュール②	検討	→	—	実施 —		
	取組内容	黒部市民病院改築計画（マスタープラン）に伴い、黒部市保健センターについては、移転を求められている。当面の措置としてH24年度に①黒部市宇奈月健康福祉センターに機能を移転する。今後、保健センターの整備については、広く地域住民の意見を聞くとともに「②黒部市保健センター整備策定委員会」を開催し検討していく。		数値目標						
		【これまでの主な実績】 H22 新庁舎建設基本構想中間報告で「保健センターは新庁舎へ併設を検討すべき機能」と位置付ける。 H23 ・新庁舎建設基本構想で「事務所は庁舎内に、検診機能は併設とする」ことに決定 ・H25年8月中に健康福祉センターへ事務所等を移転することに決定		達成値						
		進捗目標① 進捗目標②						①移転・センター解体		
		達成度① 達成度②			②新庁舎併設に決定					
		財政効果								
		備考								

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				産業経済部 農林整備課						
14	細目	(3) 公共施設の設置と管理運営の見直し	黒部市黒部猟友会及び市有害鳥獣捕獲隊により継続的に活用されている。25年度上半期は総会、打合せ、懇親会等で6回の利用があり、年間目標値12回に対して順調に推移。この他、有害鳥獣パトロールの拠点として捕獲個体の引渡しや、各資材の仮置き場所としても日常的に機能している。		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	窪野高齢者共同作業センターの見直し		スケジュール	使用者の検討	使用者の選定	→	→	→	
	取組内容	設置目的に沿った有効利用がされておらず、利用者ニーズも低いことから、地元などとも協議を行い、施設のあり方について方向性を決定する。		数値目標		12	12	12	12	
		【これまでの主な実績】 ※H20.1月～H22.3月 休館 H22年度 ・企業誘致は地理的に難しく、広く市民や団体が利用できる施設として開放することとする。 H23年度 ・猟友会、有害鳥獣捕獲隊の利用承認		達成値		12	13			
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考	数値目標:利用回数							

No.	基本項目	3. スリムで効率的な行政体制の整備	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				教育委員会 学校給食センター						
15	細目	(3) 公共施設の設置と管理運営の見直し	H25.4 (株)東洋食品と調理・洗浄業務委託契約(3年契約)3年目スタート 6月 県内共同調理場委託状況調査実施 7/25 調理従事者衛生講習会開催 (委託従業員衛生指導) 4~9月 業者への指導・監督  <H26以降の委託業者選定> 8月 プロポーザル設計書作成 9月 委託業者選考委員会設置 調理委託業者選定プロポーザル実施 (H26以降の委託業者決定)		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	給食センターの管理運営の見直し		スケジュール	検討	委託の実施	→	→	→	
	取組内容	給食センターは、新築移転により、平成23年度から新しいセンターでの運用が始まり、業務開始と同時に調理・洗浄業務を民間委託する。 富山県内に11ヶ所ある共同調理場の内、既に7つの調理場が民間委託を実施(H22.4現在)しており、人件費の削減が図られている。 (黒部市では約4千万円の削減見込) 新センターでは、ドライ調理システムへ調理方法の変更が求められており、当該調理に対応するため、優れた調理のノウハウを持った専門業者に調理・洗浄業務を委託することにより、より衛生的で安全安心な給食を提供することができる。 平成22年度に委託業者を選定し、平成23年度から委託実施する。3年ごとに委託業者の見直しをしていく。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	委託業者選定	委託開始		委託業者選定	委託開始	
				達成度	委託業者選定	委託開始				
				財政効果						
		備考								

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				全庁 総務企画部 総務課						
16	細目	(1) 定員管理の適正化	<p>定年前早期退職者の募集と次年度以降の人員計画に基づく職員採用試験を実施する。 平成25年度は職員が欠員状態であったため、平成26年度採用予定職員から前倒し採用する。 (事務職2人、土木技術職1人、保健師1人)</p> <p>平成25年10月1日現在職員数 374人</p> <p>平成26年度職員数見込み 373人 ・今年度退職見込数 : 22人(専従休職含む) ・次年度採用等見込数 : 21人</p>		H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)	
	取組事項	定員管理の適正化		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	<p>新たな「定員適正化計画」(計画年次:平成22年度から平成27年度)に基づき、定員管理の適正化に努める。</p> <p>(計画策定時の職員数削減目標) H22.4: 448人⇒H27.4: 420人以下へ (*派遣者等の統計上、H22.4の職員数は446人となる)</p>		数値目標	(△3人) 445	(△3人) 442	(△6人) 436	(△7人) 429	(△9人) 420	
				(消防を除く)	(384)	(381)	(375)	(368)	(361)	
				達成値	(△4) 444	(△5) 439	(△69) 370	(3) 373		
				(消防を除く)	(383)	(378)	370	(3) 373		
		【これまでの主な実績】 H23.4 444人 H24.4 439人 (退職12人、採用8人、病院へ異動1人) H25.4 370人 (退職22人、採用12人、再任用2人、消防組合へ異動61人)	進捗目標							
			達成度							
			財政効果	No.17(次項目)で計上						
			備考	数値目標:年度当初の職員数(上段:削減数 下段:累計)H25年度から消防は新川地域消防組合職員へ移行						

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	今期取組実績	担当課	全庁 総務企画部 総務課								
				(下線は主管課)	H22 (H23)	H23 (H24)	H24 (H25)	H25 (H26)	H26 (H27)				
17	細目	(2) 給与・手当の適正化	NO. 16に対する財政効果 前年度給与費決算額に対する削減額を次により測定することで比較  ※削減額測定 (前年度人数－当該年度人数) ×前年度1人あたり人件費  H25⇒H26 人員1人増見込み 財政効果額：△7,700千円										
	取組事項	一般職員の給与の適正化		スケジュール	実施	→	→	→	→				
	取組内容	国・県に準じた給与支給体系を維持しつつ、時間外手当、特殊勤務手当などの改善見直しを図るとともに、「定員適正化計画」に基づく人員削減計画により給与費総額の削減に努める。		数値目標	(△24) △24	(△21) △45	(△57) △102	(△47) △149	(△71) △220				
				達成値	(△15) △15	(△38) △53	(△46) △99	(△8) △107					
				進捗目標									
				達成度									
				財政効果	15,246	52,926	99,126	106,826					
			備考	数値目標：H22年度に対する削減額 (単位：百万円) (上段：単年度 下段：累計)									

No.	基本項目	4. 定員管理と給与の適正化	今期取組実績	担当課	全庁 総務企画部 総務課					
				(下線は主管課)	H22	H23	H24	H25	H26	
18	細目	(2) 給与・手当の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に「時間外勤務の適切な管理」について所属長あてに文書を出し、時間外勤務の縮減と適正管理に向けて次の取組を推進する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①時間外勤務代休時間（60H超）の取得促進</li> <li>②コスト意識を持った勤務時間管理の徹底</li> <li>③スケジュール管理、情報の共有化による効率的な業務の遂行</li> <li>④休日勤務に対する振替制度の積極的活用</li> </ol> </li> <li>・勤務時間の短縮に伴い導入したシフト勤務利用の促進に努める。</li> <li>・基準を超える時間外勤務の申請制度の周知</li> <li>・決算審査において、所属職員の人件費の支払状況を報告するなどし、人件費に対するコスト意識の浸透を図る。</li> </ul> <p>※H25上半期 時間外勤務の増 21,044H（対前年同期比109.6%）</p> <p>要因：プロジェクト事業の推進 ：農産公社解散、新川育成牧場直営準備 ：学校の改築、耐震化事務 ：職員の欠員（2人） ：フルマラソン準備</p>							
	取組事項	時間外勤務の抑制		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	事務・事業の改善、業務配分の平準・適正化等により時間外命令の削減に取り組み、時間外勤務の抑制に努める。		数値目標	(△0.3) △0.3	(△0.5) △0.8	(△0.6) △1.4	(△0.6) △2.0	(△1.0) △3.0	
		【これまでの主な実績】 H21 時間外勤務手当合計(消防を除く) 65百万円 H22 時間外勤務手当合計(消防を除く) 73百万円 (要因：9月の集中豪雨災害対応, 3月の東日本大震災支援対応) H23 時間外勤務手当合計(消防を除く) 74百万円 H24 時間外勤務手当合計(消防を除く) 81.4百万円 (要因：プロジェクト事業の推進 ：消防広域化準備作業 ：農産公社解散事務等 ：図書館開館時間延長 ：学校の改築、耐震化事務 ：職員の欠員（5人） ：フルマラソン等の導入調査		進捗目標						
				達成値	(8.0) 8.0	(9.0) 17.0	(16.4) 33.4			
				進捗目標						
				達成度						
		財政効果								
			備考	数値目標:H21に対する普通会計(消防除く)削減額(単位:百万円) (上段:単年度、下段:累計)						



No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 市長政策室 企画政策課					
19	細目	(1) 行政評価システムによる事務事業の整理合理化	≪現行の考え方の整理≫ シート作成による評価システムは有効性に乏しく見送る。 (代替として) ①総合振興計画における指標(数値目標)の設定と進捗管理 ②業績評価による評価システムの定着化		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	行政評価システムの確立		スケジュール① スケジュール②	検討・実施	検討	→	→	→	
	取組内容	効率かつ透明性の高い行政運営を推進するため、①全事務事業評価並びに②全施策評価を実施(公開)するとともに、総合振興計画や予算編成、定員管理等との連携を図り、実効性のある行政評価システムの確立を目指す。		数値目標① 数値目標②	40%					
		【これまでの主な実績】		達成値	53.9%					
		H23 評価プロセスに時間と労力がかかる割に施策への反映が見えて来にくいことから、施策評価を見送る。		進捗目標						
		一方、今まで実施してきた評価を分析したところ、現在の評価方法は事務負担が大きい、職員にPDCAを用いた目標管理型評価に対する考えが身に付いたという一定の成果があった。		達成度						
		今後は、日頃の業務に対するPDCA概念の定着化を図り、新たな行政評価システムの手法、位置付けを検討していくこととする。		財政効果						
		備考	進捗目標① 事務事業評価数/全事務事業数 進捗目標② 施策評価数/全施策数							

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	全庁 市長政策室 企画政策課					
20	細目	(3) 民間活力の積極的導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>所管施設について、管理手法や管理期間等の意向調査を実施する。 新規指定管理移行施設→美術館</li> <li>H26.4指定管理に向けた事務等募集要項、指定管理料基準額の試算等所管課会議…8月29日 選定委員会…9月25日</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	指定管理者制度の活用		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	公の施設に対する市民ニーズに応えるため、制度導入による効果が見込まれる施設について、管理運営に民間事業者等の持つ技術やノウハウを活かす。		数値目標			35			
		*指定管理者制度		達成値	29	29	32			
		公の施設について、民間事業者等に施設の管理や運営に関する権限を委任し、管理等を任せもの。		進捗目標						
		民間手法を活用した効率的かつ効果的な管理運営主体の選定を目指す。		達成度						
				財政効果						
		備考	数値目標:公募による指定管理施設数							

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	今期取組実績	担当課						
				(下線は主管課)						
				市民生活部 こども支援課						
21	細目	(3) 民間活力の積極的導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引受法人から保育士4名を受入れて保育を実施（4月から）</li> <li>・ 民営化に向け、毎月定例打合会を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育計画</li> <li>② 施設、備品の引継、改修</li> <li>③ 職員採用計画について</li> <li>④ 運営費、補助金、諸経費について</li> <li>⑤ 法人採用保育士4名の派遣研修</li> </ul> </li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	保育所の民間移管		スケジュール	検討	→	→	→	実施	
	取組内容	子育てと仕事の両立を支援し、保育の質を落とすことなく、むしろ多様化する保育ニーズに柔軟に対応できる体制づくりを整えるために、また、公立保育所が抱える運営面での問題や財政的な見地から、公立保育所の一部民営化はどうあるべきか、また、公立保育所と民間保育所のどのような割合の運営が適切なものか検討する。		数値目標					1	
		【これまでの主な実績】		達成値						
		H22 黒部市保育・教育あり方検討委員会設置 黒部市保育・教育あり方検討委員会開催（1～5回）		進捗目標	委員会設置			移行期間	民営化	
		H23 黒部市保育・教育あり方検討委員会開催（6～9回）		達成度	委員会設置					
		H24 浦山保育所引受法人決定		財政効果						
			備考	数値目標：民間移管保育所数						

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	教育委員会 生涯学習スポーツ課					
22	細目	(3) 民間活力の積極的導入	H25.9 美術館条例一部改正 H25.9 美術館条例規則一部改正 指定管理者募集要項作成		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部市美術館の指定管理者制度の導入		スケジュール	検討	検討	→	準備	導入	
	取組内容	既に指定管理者制度を導入した宇奈月国際会館セレネ美術館との企画連携を密にし、施設の魅力度を高め、施設管理効率を高めるため、黒部市美術館への指定管理者制度導入を目指す。			数値目標	設定なし	7,000人	7,500人	8,000人	
		【これまでの主な実績】 H22 導入の可能性調査 H23 導入の検討 H24 導入を決定			達成値	—	7,177人	10,522人		
		美術館運営審議会委員の意見を取り入れ、館の特徴を出して認知度を高め、来館者数を増やすことにより、指定管理ができる環境を整備する。			進捗目標	セレネとの連携	指定管理者制度の導入検討	指定管理・企画展の導入検討	導入に向けた準備	指定管理者制度導入
		H22 利用者数 12,605人 (内美術館入館者8,297人＋普及利用者4,308人)			達成度	セレネとの定期的意見交換	審議会での検討	小規模美術館へのアンケート		
		H23 利用者数 7,177人 (内美術館入館者5,006人＋普及利用者2,171人)			財政効果					
H24 利用者数 10,522人 (内美術館入館者8,073人＋普及利用者2,449人)			備考	数値目標：来館者数						

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				全庁 総務企画部 総務課						
23	細目	(4)外郭団体の組織・経営の見直し	<p>設置趣旨や職員処遇の課題から、短期的、抜本的に見直すことは困難だが、自主的、自立的な経営体制の確立に向け、具体的に協議、調整を行っていくこととする。</p> <p>&lt;内容&gt;            1. 組織の簡素化            2. 人件費の適正化</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	外郭団体の組織・経営の見直し		スケジュール	検討実施	→	→	→	→	
	取組内容	「外郭団体見直し指針」に基づき、外郭団体ごとの見直しの方向性を明確化したうえで、統合や抜本的な見直しの検討を行うとともに、経営改善計画を策定し、団体における自立した経営を目指す。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	外郭団体見直し指針に基づき実施					
				達成度						
				財政効果						
				備考						

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				総務企画部 財政課						
24	細目	(4)外郭団体の組織・経営の見直し	<p>H24年3月をもって解散、清算終了となったため土地開発公社としての事業実績はなし。今後は公社解散に伴い市が取得した土地について、利用及び売却を進める。</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	黒部市土地開発公社所有地の簿価総額の縮減		スケジュール	実施	→				
	取組内容	事業用代替地として不用となった土地について、市の買戻しのみならず直接売却等も推進し、簿価総額を縮減する。		数値目標	(△150) △150	(△100) △250				
				達成値	(△152) △152	(△1,561) △1,713				
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
				備考	数値目標：公社所有地処分額(単位:百万円) (上段:単年度、下段:累計)					

No.	基本項目	5. 経営的視点に立った事業運営	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課					
25	細目	(5) 公有財産の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期において、市有地1件の条件付き一般競争入札を実施する。(応札なく中止)</li> <li>下半期での旧黒部消防署跡地売却に向け、準備を行う。</li> </ul>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	未利用地の活用		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	未利用となっている市有地等の財産について、売却処分、貸出を進め、財源確保に努める。(開発事業者への売却など、コスト縮減方法を検討)		数値目標	(20) 20	(20) 40	(20) 60	(20) 80	(20) 100	
		【これまでの主な実績】		達成値	(34) 34	(107) 141	(13) 154			
		売却実績		進捗目標						
		H22 33,593千円 (1360.20㎡)		達成度						
		H23 106,920千円 (5784.91㎡)		財政効果	33,593	140,513	153,513			
H24 13,000千円 (1211.00㎡)		備考	数値目標: 未利用地売却額(単位: 百万円) (上段: 単年度、下段: 累計)							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 財政課					
26	細目	(1) 計画的な財政運営	H24実質公債費比率の算定: 17.7%		H22 (H21)	H23 (H22)	H24 (H23)	H25 (H24)	H26 (H25)	
	取組事項	財政構造の健全化 (実質公債費比率)		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画期間における実質公債費比率の目標値を設定し、健全化に努める。 <目標> 実質公債費比率を20%未満とする(平成26年度末)。 H19/22.0% H20/22.9% H21/22.8% H22/21.2% H23/19.5% H24/17.7%		数値目標					18% 未満	
		*実質公債費比率 当該年度の標準的な一般財源規模に対する償還公債費の比率。 早期健全化基準値は25.0%であり、これを超えると、『財政健全化計画』を策定し、計画的に財政健全化を目指すこととなる。		達成値	22.8	21.2	19.5	17.7		
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考	(毎年: 9月公表数値)							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				総務企画部 財政課						
27	細目	(1) 計画的な財政運営	H25年度末見込み(当初予算) 177億円							
	取組事項	財政構造の健全化(起債残高)		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画期間における社会資本整備に係る起債残高の目標値を設定し、健全化に努める。 <目標> 社会資本整備分の起債残高を概ね154億円とする。 (平成26年度末)		数値目標					154億円	
				達成値	157億円	149億円	162億円			
				進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考								

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				全庁 総務企画部 財政課						
28	細目	(2) 財政基盤の強化	H22.4 財政健全化プランを策定 (プランに掲げた取組みは、全て行革アクションプランと連動)							
	取組事項	財政健全化プランの作成		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	行革大綱に基づく取組みが財政面で果たす効果を見通すとともに、健全財政を確保していくための目安となる財政指標を設定し、計画的な財政運営を行うための「財政健全化プラン」を作成する。		数値目標						
				達成値						
				進捗目標	財政健全化計画に基づき実施					
				達成度						
				財政効果						
		備考								

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 税務課				
29	細目	(2) 財政基盤の強化	<b>【口座振替納税の推進】</b> ・納税通知書及びチラシによる勧奨 ・家屋評価時における勧奨（4月～9月 95件） ・CATVテロップ放送による勧奨（4月） ・広報による勧奨（4月～9月） ・窓口での勧奨（納税相談時等） <b>【滞納処分の強化】</b> ・訪問による催告（5月・7月・9月） ・文書による催告 督促状（4月～9月） 催告書（5月・7月・9月） 特別催告書（随時 234件） 差押予告通知書（随時 167件） ※差押件数（H25.9月末） 51件 ※財産調査件数（H25.9月末） 1,050件 内訳：実態調査168件 預貯金調査638件 給与調査96件 生命保険調査24件 年金調査82件 戸籍等調査42件  平成25年度上半期実績 収納率61.60% 4,414百万円/7,166百万円		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	市税収納率の向上		スケジュール	実施	→	→	→	→
	取組内容	口座振替納税の推進、滞納処分の強化等により収納率向上と滞納額圧縮を図る。		数値目標	99.01%	99.02%	99.10%	99.10%	99.10%
		【これまでの主な実績】 H21 収納率：99.00% （調定額 7,920百万円 収納額 7,841百万円） H22 収納率：99.22% （調定額 7,768百万円 収納額 7,707百万円） H23 収納率：99.18% （調定額 7,684百万円 収納額 7,621百万円） H24 収納率：99.16% （調定額 7,786百万円 収納額 7,721百万円）		達成値	99.22%	99.18%	99.16%		
			進捗目標						
			達成度						
			財政効果	16,296	12,288	4,668			
			備考	数値目標：収納率					

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)						
				都市建設部 都市計画課						
30	細目	(2) 財政基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>口座振替不能者に対し不能通知の送付(毎月)</li> <li>滞納者あて督促状送付(納期の翌月)</li> <li>滞納者あて催告書送付(2か月に一度)</li> <li>保証人あて納付促進依頼送付(2か月に一度)</li> <li>随時納付(集金)対応</li> <li>夜間督促の実施(8月24日実施)</li> </ul> <p>平成25年前期実績 収納率47.82% 35,700,000円/74,648,900円 約280戸</p>		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	住宅使用料収納率の向上		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	口座振替納税の推進、入居者の生活実態に合わせた徴収強化等により収納率向上と滞納額圧縮を図る。		数値目標	98.0%	98.2%	98.4%	98.6%	98.8%	
		【これまでの主な実績】		達成値	98.2%	98.2%	96.7%			
		H21 収納率：97.83% 76,691,400円/78,392,500円 約340戸 H22 収納率：98.18% 78,120,400円/79,568,900円 約340戸 H23 収納率：98.19% 72,729,300円/74,072,100円 約280戸 H24 収納率：96.71% 73,955,000円/76,473,900円 約280戸		進捗目標						
		達成度								
		財政効果	160	0	▲ 1,292					
		備考	数値目標：収納率							



No.	基本項目		6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課		総務企画部 財政課				
					(下線は主管課)						
31	細目	(2) 財政基盤の強化		8月：補助金見直しの進め方の検討 9月：補助金調書を各課に作成依頼 調書の取りまとめ、データ集計 10月に開催の検討委員会に向け、 見直し(案)の作成			H22	H23	H24	H25	H26
			(H23)				(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	
	取組事項	補助金の適正化			スケジュール	検討	実施	→	→	→	
	取組内容	補助金交付先における事業実施自立プログラムの策定を実施するとともに、所管課におけるヒアリング・査定機能を強化する。			数値目標	(△48) △48	(0) △48	(0) △48	(△48) △96	(△0) △96	
					達成値	(△48) △48	(0) △48	(0) △48			
					進捗目標						
					達成度						
					財政効果	48,180	48,180	48,180			
		備考	数値目標：補助金削減額(単位：百万円) (上段：単年度 下段：累計)								

No.	基本項目		6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課		総務企画部 財政課				
					(下線は主管課)						
32	細目	(2) 財政基盤の強化		前期なし			H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	公債費の削減			スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画的な繰上償還、低利債への借換等により公債費の削減に努める。			数値目標						
					達成値						
					進捗目標						
					達成度						
					財政効果	7,681	22,717	35,569			
		備考									

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課						
				(下線は主管課)						
				上下水道部 経営課						
33	細目	(3) 公営企業の経営健全化	水道普及促進事業の実施 ・事業費 約56,000千円 ・延長 約1,330m  概要 ・H25年8月に大町簡水区域を上水区域に移行(125戸) ・中坪第6水源工事発注 (H26年3月完成予定)  <参考> 黒部市簡易水道組合連合会組合数 23組合、30水源、1,873戸		H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	水道事業の経営健全化		スケジュール	実施	→	→	→	→	
	取組内容	計画給水区域の整備促進を図るとともに、民営簡易水道組合や水道未加入者(個人)の加入促進を図り、普及率の向上に努める。		数値目標	61.8%	63.0%	64.2%	65.3%	66.5%	
		【これまでの主な実績】 H21末の上水道の普及率は、60.2% H22末の上水道の普及率は、61.4% H23末の上水道の普及率は、62.7% H24末の上水道の普及率は、65.0%		達成値	61.4%	62.7%	65.0%			
		※水道普及率 給水人口/行政給水区域内人口(旧黒部市) (旧宇奈月町普及率99.6%(簡易水道))		進捗目標						
				達成度						
				財政効果						
		備考	数値目標:普及率							

No.	基本項目	6. 健全な財政運営の確保	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	市民病院				
34	細目	(3) 公営企業の経営健全化	<p>引き続き、指導料等の積極算定による収入の確保、価格交渉等による支出の削減に努めたものの、患者数の減により上半期実績の前年対比で約90,000千円のマイナスとなっている。</p> <p>10月から整形外科の医師が増員になること、リニアックが移動したことによる収入増に期待するとともに、より一層の経営努力を行い収支の改善を目指していきたい。</p>		H22	H23	H24	H25	H26
	取組事項	病院改革プランの遵守		スケジュール	実施	実施 検討	実施	→	→
	取組内容	<p>平成20年度より策定・管理を行なっている公立病院改革プランに基づき、健全経営を維持していく取り組みを継続していく。</p> <p>また、その評価・分析については、ホームページなどにも公表していくこととする。</p> <p>健全経営の指標としては、経常収支比率を用いることとし、100%以上を目標としていく。</p>		数値目標	97.4%	100.9%	101.1%	101.1%	101.1%
				達成値	100.9%	102.3%	100.1%		
進捗目標									
			達成度						
			財政効果						
			備考	数値目標：経常収支比率					

No.	基本項目	7. 職員の意識改革と時代に対応した行政サービスの提供	今期取組実績	担当課 (下線は主管課)	総務企画部 総務課					
35	細目	(4) 安全・安心な市民生活の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災ラジオの配布 (黒部地区：田家、大布施、三日市、前沢荻生、東布施 約4,100台配布完了)</li> <li>・ 平成25年度黒部川水防演習への参加 (六天地区住民避難訓練を併せて実施し、100名が参加)</li> <li>・ 黒部市総合防災訓練 (若栗地区、総勢650名参加)</li> <li>・ 自主防災組織の地震・津波等への避難訓練の実施 (5地区の自主防災連合組織により、各々実施。その他、町内会単位の自主防災組織においても実施)</li> </ul>	スケジュール	H22	H23	H24	H25	H26	
	取組事項	危機管理体制の充実			検討実施	→	→	→	→	→
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仮称)危機管理室の庁内組織の設置検討 危機管理室の設置等、危機管理体制の明確化に努める。</li> <li>・ 防災訓練の実施 災害対策本部の設置、指揮命令系統や情報伝達系統の機能確保のため定期的な実施と、参加した市民や各種団体が緊急時に適切な対応ができるよう工夫した防災訓練を行う。</li> <li>・ 災害等緊急情報の充実と迅速化 災害発生時の被害等を最小限に食い止めるため、防災行政無線やCATV、コミュニティFM、防災メール等の手段の充実と緊急情報の迅速な提供に努める。</li> </ul>		数値目標						
		達成値								
		進捗目標		危機管理指針策定 Jアラート連携体制構築		危機管理想定マニュアルの整備	自主防災組織の連合組織化及び各自自主防災会による訓練の実施			
		達成度		危機管理指針策定 Jアラート整備		未実施				
財政効果										
備考										